様式第１６（第４０条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定申請書  申請年月日　 　　　2024年 6月 3日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）かぶしきがいしゃひぐちせいさくしょ  一般事業主の氏名又は名称 株式会社樋口製作所  （ふりがな） ひぐち　なりいえ  （法人の場合）代表者の氏名 樋口　徳室 印  住所　〒504-0957  岐阜県各務原市金属団地44番地  法人番号　　7200001007447  　情報処理の促進に関する法律第３１条の認定を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | (A) 企業情報  (B) 樋口製作所ＤＸ戦略 | | 公表日 | (A) 2020年　1月 20日  (B) 2024年　2月 14日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 1. <https://hig-jp.net/about-us/#message>   当社HP＞企業情報＞社長メッセージ   1. <https://www.higuchi.link/>   当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　「ＤＸビジョン」 | | 記載内容抜粋 | (A)「社長メッセージ」  激しく変化する顧客要求に答え続けていく為にも、今まで培ってきたノウハウに革新する最新技術を融合したもの作りスタイルを確立しなければならない。  (B)「ＤＸビジョン」  上記のスタイルを確立するために「情報化時代における高い技術の専門性追求と新しい管理技術の実現によるプロフィット改革を通した持続可能なスマート工場の実現」に向けてＤＸを活用強化し、新たな価値創造に取り組みます。   1. 本業であるプレス加工技術の更なる深化 2. 社内で保有するプレス加工技術・生産技術に新しい情報技術を加えた「スマート工場化」への挑戦 3. 時代のニーズに答える為、事業と組織機能の新陳代謝力を強化したＤＸを活用した活動の強化 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 取締役会で承認された方針に基づき作成された内容であって公表媒体に記載されている事項です。 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | (A) 樋口製作所ＤＸ戦略  (B) 技術情報 | | 公表日 | 1. 2024年　2月 14日 2. 2023年 10月 20日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 1. -1 <https://www.higuchi.link/>   当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　　　　「ＤＸ推進基本方針」  (A)-2 <https://www.higuchi.link/>  当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　　　　「ＤＸ推進体制」   1. -1　<https://hig-jp.net/technology/#development>   当社HP＞技術情報＞開発技術　　　　　　　　　　　　　「Iotファクトリー推進」  (B)-2　<https://hig-jp.net/technology/#production>  当社HP＞技術情報＞生産技術　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「製造現場改善のためにできること」  (B)-3　<https://hig-jp.net/technology/#production>  当社HP＞技術情報＞生産技術　　　　　　　　　　「製造現場のデジタル化」 | | 記載内容抜粋 | (A)-1「ＤＸ推進基本方針」  「ＤＸビジョン」を具現化するためのＤＸ戦略として、デジタル化は目標ではなく、あくまで改善活動の手法であるという理解の全社的落とし込みの強化をした上で下記の取組を行います。   1. 自社開発したHIGUCHI DATA INTEGRATION PLATFORM(以下、HDIP)を生産活動の軸に据え各関連部署がデータやノウハウを連携させた課題解決方法の促進 2. HDIP上のデータをエビデンスに各課題対策を部門横断で進めその活動結果を毎月の幹部会で報告し、次の対策立案へと使用 3. 形骸化しがちなデジタル化活動の対策として、ブリッジエンジニアと呼ばれる生産現場とシステム開発を横断的につなぐ社内ＤＸ人材による「使えるデータ」の収集を継続的に努め各種改善活動数値目標達成度確認の強化 4. HDIPのツールメニューを更に充実させたスマート工場実現への継続的挑戦意欲の醸成 5. 現場事情に精通した社内ブリッジエンジニアの育成強化と社員のリスキリングや技術伝承をテーマとしたデジタルシステムの開発の強化 6. 事業と組織機能の新陳代謝力を上げるため、積極的なオープンソースマネージメントの活用 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 取締役会で承認された方針に基づき作成された内容であって公表媒体に記載されている事項です。 |   　　① 戦略を効果的に進めるための体制の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | (A)-2 <https://www.higuchi.link/>  当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　　　　　「ＤＸ推進体制」 | | 記載内容抜粋 | (A)-2「ＤＸ推進体制」  経営トップの陣頭指揮の下、上記ＤＸビジョン・ＤＸ推進基本方針を具現化するために自社の組織体制も変化させています。  1．2019年 8月現場に精通しかつデジタルのノウハウを理解しているブリッジエンジニアを中心に当初4名で情報システム管理部を設立（現在は10名に増員）  2．毎月の役員会、幹部会にて情報システム管理部による活動事例の計画・進捗・成果の発表（経営者への活動進捗確認としては定例会として２週間に1度開催）  3．経営企画管理本部により、ＤＸを活用した全社的改善活動（部門横断のクロスファンクションチームによる改善プロジェクト）の成果計画と刈り取り確認を毎月実施し、毎月の幹部会にて報告発表  4．経営者へのＤＸ活動の進捗と有効性の確認定例会を通し追加のＤＸ活動関連の投資判断のスピードを加速  5．ＤＸ活動事例をＰＲ動画にてまとめ、社内設置の掲示板用大画面モニターにて常時活動を紹介するとともにＤＸによる全社一丸となった経営改革への挑戦（雰囲気）を醸成 |   　　② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | (B)-1　<https://hig-jp.net/technology/#development>  当社HP＞技術情報＞開発技術　　　　　　　　　　　　　「Iotファクトリー推進」  (B)-2　<https://hig-jp.net/technology/#production>  当社HP＞技術情報＞生産技術　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「製造現場改善のためにできること」  (B)-3　<https://hig-jp.net/technology/#production>  当社HP＞技術情報＞生産技術　　　　　　　　　　　　「製造現場のデジタル化」 | | 記載内容抜粋 | (B)-1「Iotファクトリーの推進」  製造現場をリアルタイムで監視し、情報をデータベース化することで更なる改善を行います。  ・センシング技術を取り入れ金型の状態をデーターベース化、不良が発生する前に異常信号を発信し設備を停止させる仕組み作り。  ・生産状況をリアルタイムで監視。変化を瞬時に把握し、迅速に対応。  ・金型のメンテナンスを適正な時期に指示。  (B)-2 「製造現場改善のためにできること」  自社でのメカ・電気・ソフト設計、設備製造が可能であり、プレス金型内、設備への電子制御化を進めることで後工程への流出を防止します。  (B)-3「製造現場のデジタル化」  樋口製作所独自の生産管理システムを利用し、受注情報　⇒　生産計画　⇒　材料発注　⇒　生産指示　⇒　在庫管理　⇒　出荷情報まで一貫して管理します。 ・どの材料が、どこに、何本、何キロあるか、どの設備で誰がいつ、何の製品をいくつ生産したか全てシステム内で管理。 ・自社で確立させた材料検索システムの導入により、材料の先入先出、材料を探す時間の低減を実現。  ・現場帳票の電子化、デジタル化によるロットトレースにより、段取時間短縮活動、材料納入リードタイム短縮活動、ロット単位の在庫管理などの現場改善を推進。  ■補足  (B)-1は、設問(2)記載のさまざまなＤＸ戦略の基礎となるHIGUCHI DATA INTEGRATIONと呼ぶ当社データベースを利用した様々な取り組みとなります。  (B)-2および(B)-3は、設問(2)の戦略を実現するための製造現場での具体的な取り組みとなります。 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 樋口製作所ＤＸ戦略 | | 公表日 | 2024年 5月 6日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | <https://www.higuchi.link/>  当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　　　　　「ＤＸ戦略の達成度を測る指標」 | | 記載内容抜粋 | 1．製造工程に於ける人時生産性の向上  2．品質不具合金額の低減 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | 2024年　5月 31日 | | 発信方法 | <https://www.higuchi.link/>  当社HP＞企業情報＞樋口製作所ＤＸ戦略　　　　　　　　　　　　「ＤＸ戦略を確実に推進するために」 | | 発信内容 | ＤＸ戦略を確実に推進するために～代表取締役からの発信  ①この変化の激しい時代を乗り越えるには、本業で培った技術と新しいデジタルテクノロジーの融合は不可欠と認識している。  ②2018年7月、弊社では上記の認識を中期計画に落とし込んでＤＸによる品質と生産性向上に繋がる業務改革に挑戦してきた。  ③経営方針発表会にて前年度の振り返りと次年度の取組を責任者自らが率先して言及し議論を牽引している。  ④月次の役員会や幹部会等で更なる改善ポイントを指摘し、ＰＤＣＡを高速で回すためのコミュニケーションの強化している。  これらの活動を加速させることにより、成長と発展を目指ざす。 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2022年 8月12日 | | 実施内容 | 「ＤＸ推進指標」による自己分析を行い、ＩＰＡの自己診断結果入力サイトより入力しています。 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2022年2月頃 | | 実施内容 | 中小企業であるため、Security Action制度に基づき2つ星の自己宣言を行っています。 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |
|  |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１６（第４０条関係）（第四面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所」欄は、氏名については、記名押印又は自筆による署名のいずれかにより記載すること。一般事業主が法人の場合にあっては、住所については主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請内容は正しく記載すること。認定後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。